

第二百八話 頻繁に開催された御前会議

大東亜戦争の主要結節に、御前会議が開催され、重要国策が決定された。約8年にわたる戦争間に17回開催された御前会議を管見すると幾つか気になることがある。

1 御前会議の概要(wikiによる。)

御前会議は、大日本帝国憲法下の日本において、天皇臨席の下で重要な国策を決めた会議である。御前会議は、法定のものではない(御前会議法等の規定なし)が、天皇の権能とされた開戦、終戦に関して天皇・元老・閣僚・軍部首脳の合同会議を指す。

参加者は、天皇、内閣総理大臣、国务大臣、枢密院議長、枢密顧問官、元老、陸軍：参謀総長、参謀次長、海軍：軍令部総長、軍令部次長、宮内大臣とされる。

大東亜戦争以前の御前会議は、日清戦争決定(1894年)、三国干渉への対応(1895/4/24)、日露戦争開戦決定(1904/2/4)のみである。

2 大東亜戦争における御前会議

大東亜戦争間には、御前における大本営政府連絡会議、これに類した会議4回を含めて17回もの御前会議が開催されている。

(1) 御前会議の実施状況

- # 1 1938/3/11 支那事变処理根本方針
- # 2 1938/11/30 日支新関係調整方針
- # 3 1940/9/19 三国同盟条約
- # 4 1940/11/13 支那事变処理要綱、日満華共同宣言・日華基本条約等
- # 5 1941/7/2 情勢の推移に伴う帝国国策要綱
- # 6 1941/9/6 帝国国策遂行要領
- # 7 1941/11/5 帝国国策遂行要領、対米交渉要領(乙案・甲案)
- # 8 1941/12/1 対米英蘭開戦の件
- * # 9 1942/12/10 当面の戦争指導上作戦と物的国力との調整並びに国力の維持増進に関する件
- # 10 1942/2/21 大東亜戦争完遂のための対支処理根本方針
- # 11 1943/5/31 大東亜政略指導大綱
- # 12 1943/9/30 今後採るべき戦争指導の大綱世界情勢判断、今後採るべき戦争指導の大綱に基づく当面の緊急措置に関する件
- * # 13 1944/8/19 世界情勢判断、今後採るべき戦争指導の大綱
- # 14 1945/6/8 今後採るべき戦争指導の基本大綱、世界情勢判断・国力の現状
- * # 15 1945/6/22 時局収拾策・ソ連を仲介とした対米英和平
- * # 16 1945/8/9~10 ソ連参戦対策、ポツダム宣言受諾
- # 17 1945/8/14 戦争終結の御詔

(注：*印は御前における大本営政府連絡会議、最高戦争指導会議を示す。)

(2) 所見

- ・ 開戦にかかわる会議が4回(5, 6, 7, 8)、終戦にかかわる会議が3回(15, 16, 17)と、一国にとって開戦・終戦は重大問題だということだろう。
- ・ 主導権を執れぬ戦争なるが故に、バタバタしている感じ。
- ・ 統帥と国务の節調に腐心
- ・ 天皇無答責と云いながらその権威のみは活用したいとの思惑が透ける。
- ・ 戦争指導は軍事だけではない筈だが、軍事主導、統帥部主導であり、日本的システムの限界性が茲にある。

(第二百八話 了)

